



学校だより

絆 きずな

金武町立嘉芸小学校
屋嘉1470番地
児童：225名
職員：24名
発行：校長 島袋ゆかり

授業参観日 頑張っている姿を家族に…

やる気満々で笑顔の子供たち

9月14日は2学期最初の授業参観日でした。多くの保護者・おじいちゃん・おばあちゃんが足を運んで子供たちの頑張りを応援してくれました。家族の姿が見えると、笑顔満開になり更にやる気満々になる子供たちの様子はとても微笑ましかったです。

ご家族の皆様、お忙しい中ありがとうございました。今回お仕事の調整がつかなかった保護者の皆様は、次回よりよろしくお願いします。



職員紹介

2年2組担任の與那真帆先生が体調不良のため、8月下旬からお休みしておりますが、しばらく休養を取ることになりました。9月19日からは、新たに教諭が配置され、仲本結子(ゆいこ)先生が担任となります。2年2組の皆さん、結子先生と一緒に頑張ってくださいね!

「2年2組の担任になりました仲本結子です。4月からの4ヶ月間は神奈川県で幼稚園教諭として勤務していました。小学校は初めてですが、子供たちと関わりながら頑張っていきます。よろしくお願いします。」



幼稚園教諭として勤務していました。小学校は初めてですが、子供たちと関わりながら頑張っていきます。よろしくお願いします。

校内童話お話大会

授業参観日には校内童話お話大会も実施しました。今年度は体育館工事のため一堂に会することができずオンライン開催となりました。各学級代表による童話(123年)とお話(456年)はどの児童も堂々とした発表で聞き手を魅了し、レベルの高さを感じました。9名の弁士の皆さん、素敵な発表ありがとうございました!

結果は、童話の部で3年生の細井博生さん、お話の部で6年生の石川莉愛さんが学校代表に選ばれました。2人は10月6日に行われる金武町大会に出場します。更なる飛躍を期待しています。頑張ってくださいね!



情報モラル教室

スマホ等のネットトラブルを考える

「かも」を知っている、「かもめ」を伝える

9月8日、456年生を対象に、高宮城修氏（ネットいじめ・デジタル依存教育スペシャリスト）をお招きして情報モラル教室を行いました。

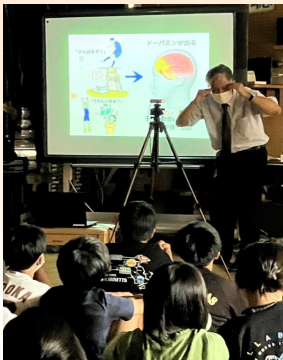
講話の中で、ネット上のいじめの現実、ゲーム依存症の心・体・生活に及ぼす影響等について実例を交えながら子供たちにお話いただきました。

大人でもスマホ等の使い方を誤ったことで苦しい状況に陥っている人が大勢います。ましてや小学生がスマホ等をルールも無いまま好き放題に使っていると、大きなトラブルに巻き込まれてしまいます。それどころか、知らないうちに自分自身が犯罪を犯してしまうという、誰にでも起こりうることも伝えてくれました。

そこで、そうならないための高宮城先生のアドバイスが見出しの『かも』で気づいて『かもよ』で伝えるです。インターネット・SNSの情報は、ひとつの情報だけを信じず、「かも」の気持ちで考え、例えば、「もしかしたら他の情報を見た方がいいかも」「本人に確認した方がいいかも」「このコメントは傷つくかも」のように気づくことが大事とのこと。また、相手に対しては注意ではなく考えさせる言葉として、「さっきの言葉は心が傷ついたかもよ?」「ほんとに困っているかもよ?」「やめた方がいいかもよ?」という語尾で話すといと子供たちに伝えていきました。講話の最後には、「自分の脳と心を育てるために今日からやりたいことは何か?」と問い、児童一人一人に考えさせていました。

保護者の皆様、ご家庭でのお子さんの様子はどうですか? 今や小学生でも親の知識・技能を越えたところでスマホ等を使用している子も沢山いると考えられます。

私たち大人がその危険性を充分理解して子供をネットトラブルから守らなければいけないと思います。保護者向けの講話を検討しているところですが、なかなか日程調整がうまくいかない状況です。実施できることになった際は、多くの保護者の参加を希望します。子供たちの輝く未来のために。



6年生が教えてくれたよ!

1学期の2年生に続いて、1年生もお兄さんお姉さんにクロムブックの使い方を教わりました。今回教えてくれたのは6年生。さすが最上級生だけあって、1年生にわかるように工夫しながら教えていました。「早く6年生みたいに上手になりたいなあ〜」と憧れを抱いていた1年生でした。



交流がいっぱい 嘉芸こども園児とも



4年生は交流会



5年生は給食準備の仕方